

# La Movado

Fondita en 1951 N-ro 750 aŭgusto 2013

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ  
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ōsaka-hu, 561-0802

KJUŜUA ESPERANTO-LIGO  
Tohurō minami 2-8-7, Dazaihu-si, Hukuoka-ken, 818-0105

ESPERANTO-LIGO de TYŪGOKU kaj SIKOKU  
Oogonzan-tyō 7-15, Minami-ku, Hirosima-si, 734-0041

## ENHAVO

第61回関西エスペラント大会開かれる.....	1-2
楽しい作文教室(26).....	塚本猛 3
Kajero libervola: "Ĉu vi volas kuri?" .....	SASANUMA Kazuhiro 4
対訳:「初秋の浅間」(3).....	堀辰雄/沖恵明 5
ヨーロッパ旅行記(1).....	市川晋平 6
モバード俳句(37).....	HIROTAKA Masaaki 7
第61回関西エスペラント大会:分科会と並行番組.....	8
第100回日本エスペラント大会 3a Informilo.....	9-12
宮本正男が残したもの.....	藤本達生 13
Salono: 峰芳隆、広高正昭、島谷剛.....	14-15
語尾なし単語の使い方(8).....	相川節子 15
Vortaro por lernantoj (130).....	Laŭlum 16
La Movado: 八ヶ岳エスペラント館の講座ほか.....	16-17
KLEG 事務局だより.....	17
Vortokruca enigmo Redakcio/ 作文教室課題.....	18
Mikspoto・作文教室成績・Kurantaj Vortoj.....	19
編集ノート.....	20

## 第61回関西エスペラント大会開かれる 「アジアの一員」を再認識した大会

開会式での和歌山ユネスコ協会会長のあいさつ。公開番組で合唱を披露してくれた地元のこどもたち。エスペラント界外の市民グループとの共同で作られた記念品。5月25日・26日に和歌山市民会館で開かれた第61回関西エスペラント大会は、現地側の主催者である和歌山緑丘会が、日ごろから地元の人たちと連帯しながら活動していると感じさせた。

また、中国と韓国からゲストを招き、公開講演では日本と朝鮮の歴史の中で注目すべき人物「沙也可」をテーマにした講演が行われた。分科会の中でも「アジアの運動」にたくさんの方が集まった。多くの参加者が「わたしたちはアジアの一員」と再認識した大会だった。

### 開会式

開会式は沖恵明さんの司会で行われた。La Espero 斉唱と黙祷に続いて、大会実行委員会委員長福本博次さん、関西エスペラント連盟会長田熊健二さんがあいさつ。来賓の和歌山ユネスコ協会会長



芝本和己さんは「ユネスコとエスペラントは理念を共有している。今後も長いお付き合いを」とよびかけた。続いて外国人参加者の紹介。アルゼンチン出身の Atilio Orellana ROJAS さん、韓国の SO Gilsu (徐吉洙) さん、中国の SUN Mingxiao (孫明孝) さんが次々と演壇に立った。Atilio さんは「両親はスペインとイタリアの出身で、自分もいろいろな国に住んできたので、どこどこの国の代表ですと言うことはむずかしい。Esperanto-lando の代表としてあい

さつします」と述べた。

日本エスペラント協会、中国四国連盟、九州連盟、東海連盟からのメッセージ、和歌山市長からのメッセージが読み上げられた。最後に KLEG 賞、KLEG 奨学金の授与。KLEG 賞は、長く神戸エスペラント会の中心になって会の運営や機関誌発行を支えてきた功績により、木村英二さんが受賞。奨学金は、『日本エスペラント運動人名事典』の編集を故柴田巖さんから引継ぎ、完成にこぎつけた後藤齊さんに贈られた。

#### 公開番組

ホールでの公開講演会は、豊臣秀吉の朝鮮侵略の際、朝鮮側に投降した日本人沙也可をテーマにした2件の講演があり、それにミニコンサートが挟まるという構成で行われた。司会は久保田百合さん。

まず So Gilsu さんが「韓国側から見た『沙也可』」のテーマで講演。韓国の文献に沙也可がどのように記録されているか、当時の韓国人たちが沙也可をどれほど高く評価していたかということ、現在も沙也可についての研究が続けられていることを、資料を映写しながら説明された。最後に Milito estas neniel pravigebla と言われたことが参加者の心に残った。通訳は中津正徳さん。

ミニコンサートはとらふす少年少女合唱団による合唱。「どこかで春が」「ひなまつり」「さくら」など春の歌メドレーを日本語で、「赤とんぼ」を日本語とエスペラントでピアノ伴奏に乗せて歌った。

最後は「雑賀衆・沙也可で街おこしの会」会長の辻健さんの講演で、テーマは「四百年の時を越えて今『沙也可』がよみがえる」。まず、沙也可の時代の日本・中国・朝鮮がどんな状況にあったか、当時の政治情勢の説明があり、沙也可についての話に入った。実在していた人物であることは確実だが、誰のことなのかは5説あること、和歌山の雑賀孫市郎が有力と思われる理由、沙也可を通しての日韓交流の状況などを話された。また、沙也可の子孫に伝わる家訓の紹介もあった。

公開講演に参加した一般市民は、受付で記名した人だけでも27人だった。

別室では「エスペラント直接法による会話指導」がやはり公開番組として行われ、Atilio Orellana ROJAS さんが指導。出席者は10人で、初歩的な会話のやりとりを楽しんだ。

2013.8

#### 特別講演

公開番組以外にも、1日目には三好鋭郎さんの日本語講演が、2日目には SUN Mingxiao さんのエスペラント講演がホールで行われた。

三好さんは「人生をかけて、不可能を可能に」というテーマで、エスペラントの宣伝のためフランスで講演旅行をしたり E U の議員に働きかけたこと、ポーランドでのシンポジウムに尽力したことなど、スケールの大きい活動を語った。

SUN Mingxiao さんは、世界遺産泰山を初めとする山東省の魅力を紹介し、ついで棗庄大学内に開設されたばかりの世界語博物館の館内を画像を見せながら披露した。

#### 閉会式

KLEG 役員の紹介、大会組織委員会メンバーの紹介のあと、大会旗が福本博次さんから第62回大会を担当するはりまエスペラント会の塚本猛さんに渡された。La Tagiĝo を斉唱して閉会となった。司会は田中一喜さん。

#### Gaja Vespero

「楽しく歌おう」の分科会に出席した人たちが、練習の成果を見せて2曲を披露。次に増井正典さんがオカリナの演奏と歌を聞かせた。池田エスペラント会の島谷剛さんと岩田好兼さんが狂言「盆山」で会場を笑わせ、長浜エスペラント会のコーラスグループ Laga Sono による美しいハーモニーが「楽しい夕べ」を締めくくった。司会は木元靖浩さん。

#### 遠足とバンケード

大会前遠足は和歌山城散策。中島暁子さんの案内で9人が参加した。

バンケードは会場近くのレストラン「アミティエ」で行われ、国外からの招待者や公開番組で講演する辻健さんを含めて48人が参加した。

#### その他

大会の参加者数はちょうど200人で、不在参加者を除いた実数は招待者を入れて144人だった。

郵便局が2日間とも会場へ出張し、小型通信日付印(記念スタンプ)も使われた。(p.8 参照)

大会としては久しぶりに Paradizo (夜更かしの部屋) が設けられ、夜12時近くまで歓談した。

朗読コンクールと雄弁コンクールは、応募者がいなかったために残念ながら中止された。

※スナップ写真および分科会と並行番組の記事は p.8



①落ち葉の下にガラスのかけらが落ちているのだろうか？

【訳例1】Ĉu pecoj de vitro kuŝas sub falintaj folioj? (Yo)

【訳例2】Ĉu estas peco de vitro sub falintaj folioj? (Ĉielo)

【訳例3】Ĉu pecoj de vitro kuŝas sub la falintaj folioj, mi demandas min. (CA)

ガラスのかけら: peco de vitro。

この課題は ĉu を使う単純な疑問文の例が多かったのですが、訳例3のように引用文や複文の形での解答もありました。その場合の動詞には *demandi*, *pensi*, *suspekti* がありました。*pensi* は「思う、考える」で中立ですが、*suspekti* は「疑う」という意味で、悪意があると考える場合もあります。

落ち葉の下の「ガラスのかけら」は単数で良いと思います。かけらがたくさんあるようなら、複数形を使う方が良いでしょう。「落ちている」は *esti*, *kuŝi*, *troviĝi* の例がありました。個人的には *troviĝi* は少し違う感じがします。

②彼は無関心に落ち葉のそばを通り過ぎて行った。

【訳例1】Li indifere pasis preter la falintaj folioj. (ヒー坊, Ivajo, CA)

【訳例2】Li indifere preterpasis la falintajn foliojn. (Ĉielo)

【訳例3】Li preterpasis indifere la falintajn foliojn. [解説参照](Yo)

無関心な: indifera.

*pasi* は、何処か別の場所へ行く途中に、ある場所を通る場合に使います。この課題での前置詞は *preter* (そばを通過) でしょう。*preterpasi* (通り過ぎる) の場合は、訳例3のように対格を使います。この単語には「追い越す」、「見過ごす」の意味もありますので注意が必要です。よく似た綴りの *paŝi* (歩く) で *preterpaŝi* (通り過ぎる) と表現できます。「落ち葉」は、*la folioj* としても良いでしょう。

訳例3は語順の違いによって、むしろ「落ち葉に無関心に」の感じがします。その意味なら前置詞を使った *indifere al* が良さそうですが、こんどは

*preterpasi* の目的語が無くなってしまいます。もし語順を変えるのであれば、"*indifere li preterpasis la foliojn*" のように、先頭に持ってくるのはどうでしょうか。なお *indifere* は *ne sentante intereson* や *sen intereso* と表現しても良いと思います。

③2時間後、彼は大きな門の前に立っていた。

【訳例1】Post du horoj li staris antaŭ granda pordego. (Yo, 類似訳: T.Ku)

【訳例2】Post du horoj li staris antaŭ granda pordo. (田原, ikona)

門、正門: pordego。

「2時間後」は *post du horoj* で問題ないでしょう。なお、時間でも場所でも「前に」は *antaŭ* を使いますが、*malantaŭ* (後ろの) は場所に関してのみ使用します。ところで、「時間」は *horo* です。*folo* だと「ばか騒ぎ」になりますので気を付けましょう。

この場合の「門(もん)」は、外構えに設けた出入口口なので、*pordego* (門)、あるいは *pordo* (ドア) でしょう。*granda pordo* だと「大きな扉」と解釈されるかも知れません。*pordo* は出入口口であって、外構えかどうかの区別はなく、町の「門」に対応する場合もあります。*pordego* は「正門」、乗り物を通すためのもののイメージです。

④そこには彼のほかに3人が立っていた。

【訳例1】Krom li ankaŭ tri homoj staris ĉi tie. (Ivajo)

【訳例2】Tie staris tri homoj krom li. (Drako, 田原, Yo, Drakino)

～は別として: *krom*。

これは見かけによらず難問でした。*krom* は少し面倒な単語だと思います。*krom X* は *X* が除外なのか、それとも追加なのかで意味が違ってきます。訳例1では追加であると明示するため、*tri homoj* の前に *ankaŭ* を付加しています。後ろの *ĉi* は余計ですね。さて、もし直前の課題を無視してこの課題だけで考えれば、訳例2は除外の *krom* かも知れません。つまり「そこには彼のほかの3人が立っていた」の意味かも知れません。肯定文ですが、彼の存在については否定の意味になるかも知れないのです。文脈によって決まるとはいえ、誤解を避けるために *ankaŭ*, *eĉ* などを追加したり、*krom* ではなく *aldone al* を使うことも考えられます。

成績は 19 ページ 課題は 18 ページ

近年、日本のランニング人口は急速に増えています。3万6千人が走る東京マラソンには10倍もの応募があり、ノーベル賞の山中教授や、猪瀬東京都知事はマラソン愛好家として知られています。東京の皇居周辺は、今やランナーがあふれるようになりました。私も昨年より走り始め、10km 走やリレーマラソンに出場しています。

Ĉu vi ne ofte vidas kurantojn ĉirkaŭ via hejmo lastatempe? Oni diras ke nun la nombro de kur-amantoj en Japanio superas 10 milionojn. La cifero eble duobliĝis dum la lastaj 10 jaroj. En bone konata maratona konkurso Tokia Maratono kuras 36 mil personoj ĉiujare. En 2013 aliĝis pli ol 300 mil kaj oni elektis kurantojn de lotado. Nur unu el dek povis kuri! Ne nur Tokio, sed multaj municipoj en Japanio okazigas maratonajn aŭ aliajn longdistancajn kur-konkursojn. Ekzemple en Gubernio Shiga (mia loĝloko) okazis ĉirkaŭ 20 konkursoj en 2012.

Lastatempe oni raportis, ke 2 japanaj eminentuloj estas kur-amantoj. Yamanaka Shin'ya, nobel-premiito pri medicino aŭ fiziologio, kutimis kuri ĉiutage, kaj fojfoje partoprenis en kur-konkursoj. Inose Naoki, guberniestro de Tokio, mem kuris en Tokia Maratono en 2012, kaj trakuris 42.195 kilometrojn en 6 horoj kaj 40 minutoj. Li komencis kuradon nur antaŭ 3 jaroj (Li tiam estis jam pli ol 60-jaraĝa!).

En la centro de Tokio, ĉirkaŭ la imperiestra palaco, estas bona kurso por kurado. Sur la kurso de 5 kilometroj preskaŭ ne estas trafiklumoj, kiuj haltigas kurantojn. Kaj oni kurante povas ĝui belan pejzaĝon de la palaco. Ĉiunokte multaj oficistoj kuras post sia laboro. En feriaj tagoj abundas kurantoj kaj okazas konkursoj. Nun troviĝas multaj instalaĵoj por kurantoj, kie oni povas

ŝanĝi vestojn kaj preni duŝon. Lastatempe kurantoj ĉirkaŭ la palaco fariĝas tro multaj, tiel ke ili ofte ĝenas promenantojn. La municipo kaj polico kune faris regulojn, ekzemple, ĉiam kuru maldekstrume, kuru unuvico sur la malvasta trotuaro, ktp.

Nun mi mem kuradas almenaŭ 2-foje en 1 semajno ekde la lasta jaro. Mi tute ne estas sport-amanto, kaj preskaŭ ne havis ŝancon kuri pli ol 2 kilometrojn dum la lastaj 30 jaroj. En la lasta somero mi aŭdis, ke fondiĝis atleta klubo en mia kompanio. Mi ial havis intereson pri tio, kaj komencis trejni min en longdistanca kurado kun miaj kolegoj. Baldaŭ granda allogo de kurado firme kaptis mian koron. Longdistanca kurado estas iom laciga sporto, kiu bezonas paciencon. Sed ĝi donas al kurantoj ĝojon kaj kontentiĝon.

En ĉi-jara marto mi unuafoje partoprenis en konkurso 10 kilometrojn longa. Maloportune tre forta vento suferigis min (kompreneble ankaŭ aliajn kurantojn) dum la kurado, sed mi pene finkuris en ĉirkaŭ 1 horo. La rapideco estis nur duono de tiu de altrangaj maratonistoj (Ili finkuras duonmaratonon en sama tempo.), kaj mia rango estis malalta. Tamen mi sufiĉe kontentiĝis per la rezulto, ke mi povis finkuri.

En la lasta junio mi kaj miaj 3 kolegoj kune partoprenis en stafeta maratono, en kiu oni alterne kuras sur mallonga kurso. Pri nia grupo ĉiu membro 5-foje kuris sur la kurso 2.1 kilometrojn longa (entute 10.5 kilometroj), kaj finkuris 42.195 kilometrojn en 3 horoj kaj 56 minutoj. Ĝis tiam mi ne kuris pli ol 10 kilometrojn, sed per tiu sistemo mi povis facile konkeri 42.195 kilometrojn kun miaj amikoj. Se vi nun estas sufiĉe sana por kuri, ne hezitu droni en ĝojo de kurado.





## 初秋の浅間

(3)

堀 辰雄

そういった凄さをどこかその底にもっている山だが、その浅間も、追分の供養塔などの立ち並んだ村はずれ——北国街道と中山道との分(わか)去れ——に立って真白な花ざかりの蕎麦畑などの彼方に眺めやっていると、いかにも穏やかで、親しみ深く、毎日見慣れている私の裡にまでそこはかかない旅情を生ぜしめる。往昔、遠く中山道を御代田の方から上ってきた旅人がやっと追分まで辿りつき、宿へのはいり口で、いかにもほっとした気持であらためて浅間山をしみじみと見なおした数百年の感慨が、いまだにここいらじゅうに漂っていて、私達の今日の感情をもそれとなく支配しているのかも知れない。そんな気もされる。

去年の九月も末近い頃、朝から午過ぎるまで、この馬頭観音などのある村はずれの、昔のままに残っていると云われている、一本の古い松の木かげに、画架を据えて、いかにも愉しそうに水彩画を描いていた、一見外国婦人と見まがわれるほど、黒ずくめの洋装の身についた、日本人の一老婦人がいた。その傍には、中年の日本服をきた婦人がつきそうようにして、編物をしていた。

偶然その朝そこまで散歩にきた私は、しばらく邪魔にならぬようなところに立って、その由緒ありげな老婦人のいかにも朗らかそうな気分で絵を描いている様子を、私自身まで何か楽しくなりながら見物していた。

(続)



La vojforko en Oiwake (追分の分去れ)

Fotis OKI Keimei

## La Monto Asama en frua aŭtuno

(3)

de HORI Tatuo

tradukis: OKI Keimei

La monto havas tian terurecon en iu loko de sia profundo, sed tamen la monto *Asama*, tia, aspektas tre kvieta, intimecplena, kaj, kvankam mi eĉ ĉiutage kutimiĝas rigardi ĝin, ĝi vekas en mia sino nebule senteban emocion pri la vojaĝo, kiam mi staras ĉe la loko, kie vice staras stupao k.a., iom for de la vilaĝlimo de *Oiwake*, — t.e. ĉe la vojforko de la vojoj *Hokkokukaidō* kaj *Nakasendō* — kaj rigardas al la fora loko trans la fagopiran kamparon, kiu plenis de blankaj floroj. Iam en malnova tempo vojaĝantoj, kiuj suprenenis de malproksime disde la vilaĝo *Miyota* tra la vojo *Nakasendō* kaj fine alvenis al *Oiwake*, kun vere malstreĉita kaj refreŝigita sento emociplene refiksis sian rigardon sur la monto *Asama* ĉe la enirejo de la urbeto. Tia sento trans kelkcent jaroj ankoraŭ ŝvebas eĉ tie kaj ĉi tie, kaj eventuale okupas nian koron hodiaŭ nerimarkite de ni. Mi pensas tiel.

Ĉirkaŭ la fino de septembro en la lasta jaro, mi vidis unu japaninon-maljunulinon en la ombro de unu malnova pino kun la formo senŝanĝa kiel en antikva tempo laŭ onidiro apud tiea *Hajagriva* (Avalokiteŝvaro kun ĉevalkapo) iom trans la vilaĝlimo. Ŝi tiel bone kovris sian tutan korpon per nigraj eŭropstilaj vestaĵoj ke oni prenis ŝin por eŭropanino laŭ unu vido, kaj tre plezure pentris akvarelon sur desegnostablo de la mateno ĝis tuj post la tagmezo. Apud ŝi mezaĝa virino, portanta japanan vestaĵon, zorgocele sidis kaj okupis sin per trikado.

Hazarde promeninta ĝis tie en la mateno, mi staris sur la loko, kie mi ne kaŭzis ĝenon al ŝi, dum iom da tempo kaj ial kun ĝoja sento vidis ŝin, kiu aspektis tia ke ŝi devenis de bona familio kun historio, fari pentradon verŝajne en bonhumora atmosfero. (daŭrigota)

## ポーランドでの体験

市川晋平(京都府)

Saluton, geamikoj !!

初めまして、新米エスペ란ティストの市川晋平と申します。

現在はひょんなことから東欧はポーランドの地にいるのですが、その旅行記を、と筆を取る運びとなったため、隔月ではありますが、何卒よろしくお願ひ致します。

今回の旅の助けに、と半年程前からエスペラントを学び始めたのですが、予想以上にお世話になっております。まだまだ新米のためあまり上手くは扱えませんが、それでも出会うエスペ란ティストの方々が皆優しいおかげで、どうにかこうにか楽しくコミュニケーションを取らせていただいております。

さて、それでは旅行記ということですので、それらしいことを綴っていきます。

4月15日夜に日本を発ち、ポーランドの首都ワルシャワに到着したのが翌日昼。日本とポーランドは7時間の時差があります。そこから移動や観光を経て、ポーランドで初めて出会ったエスペ란ティスト、ZEMLAさん宅に到着したのが4月18日。ポーランドの京都、と言われるKrakowを経由して、そこから少し西に位置するZabrzeという工業都市にやってきました。エスペラントを利用すれば、いわゆる観光地ではないところに溶け込んで現地の生の生活を垣間見られるというのも醍醐味かと思えます。

ここZEMLAさん宅は、4人の子どもたちがいる6人家族。子どもたちはエスペラントを話せなかったのですが、いつもワイワイと賑やかな家庭は見ただけで和やかな気持ちになりました。ここには6日ほど滞在させていただきました。近くのショッピングモールでの買い物やアウシュビッツ強制収容所の観光に連れていってもらったり、ポーランド料理を教してもらったりと、色々なことを経験させていただきましたが、特に印象に残ったのは、娘さんの堅信式を見学させていただいたことです。堅信式というのは、カトリックの儀式の一つなのですが、このようなその

土地に根付いた文化の一端を自分の目でこうして見られるということはなかなか体験できるものではないと思います。エスペラントを勉強していてよかったと実感した瞬間でした。

そこからまた、日を経まして、5月の2日に訪問したのが、Tychyという町のそばにお住まいのPOREDAさん宅。子どもは姉妹2人の4人家族ですが、夫はノルウェー、姉はイギリスで働いているとのことで、伺うとポーランドでも失業者の問題は深刻であるそう。社会のあり方について考えさせられた瞬間でした。ここでも色々なことを体験させていただきました。Tychyという町は昔からビール醸造で有名らしく、Tyskieというビール会社があるのですが、POREDAさんのお友達のエスペ란ティストであるAdamさんの息子さんがここで働いているとのことで、ビール工場の見学ツアーを手配してくださいました。注ぎ立てのポーランドビールを堪能できて幸せでした。そのほか、Tychyに住むエスペ란ティスト達とのrenkontiĝoを企画してくださったり、POREDAさんの教えている学校の様子を見学させていただいたり、普段では体験できないようなことをたくさん体験させていただきました。

このような具合で、慣れないエスペラントながらも、それを通じて皆さんの体験をさせていただきました。こうして使ってみると改めてエスペラントは生きた言語だと実感することができました。

帰国は9月の予定なので、また幾度となくエスペラントのお世話になると思います。それとともに、もっと上達したいな、という思いも強くなってきています。それではまた、旅行記をお届けしたいと思います。少しでも楽しんでいただけると幸いです。



カフェでのrenkontiĝo

## Rondo Hajkista (37)

HIROTAKE Masaaki( 広高正昭)

Somero estas sezono varmega. Homoj ŝvitas kaj suferas de sunardo. Sed ventoblovo aŭ ombro sub arbo foje refreŝigas nin. Somero estas ankaŭ sezono vivoplena. Bestoj aktivas kaj plantoj kreskas. Viglaj voĉoj de junuloj sonas sur montoj kaj marbordoj. Kaj somero estas... Ni plu vidas diversajn facetojn de la sezono. Nu, ĉu vi jam pretas hajkumi?

今回8人の方から合わせて22句をいただきました。ありがとうございます。いくつかの投句を重点的に取り上げて解説します。あしからずご了解を。

Heliko kantas

silente per okuloj

longaj en pluvo (Takesi)

カタツムリの目玉は生物学的には tigokulo または sensa tentaklo というようです。雨の中のカタツムリ。作者は触覚の動きを歌っているようだと捉えています。下五が長く続く雨を連想させます。佳作。

lumetoj ŝvebas

jen tie jen ĉi tie —

akvo junia (Herbulo)

lumetoj はホタル (lampiro) のことだと受け取りました。水辺に舞う小さな光点を眺めているとしばし蒸暑さを忘れることができます。

Teumas viroj

ĉe domo konstruata —

somera tago (Nokaze)

建築途中の家で男たちがお茶を飲みながら談笑しています。大工さんたちの休憩時間。外は夏の日ざしですが、家の中は風が通って心地よさそう。一服したあとは続きの仕事が待っています。静かな活力。

arda pavimo

knabajn tagojn somerajn

pasigas ĝeme (jasmeno)

字句どおりに読めば「灼熱の舗道が少年の日々を過ごす」という超現実的な風景です。気にせず読めば

作者の伝えたいことが何となくわかってくる不思議な句。本筋ではないがたまにはこういう句もいいです。

Somero venos,

tapiŝon ŝanĝu junkon,

malvarmetiĝos.

(Midori)

夏を迎えるために部屋のじゅうたんを花ござに変えるというのですね。hajko の形としては、各行に動詞があつて、三段に切れています。かたことをつなげた印象がして感心しません。中七の目的語が2つあるのは文法違反です。例えば、次のように添削。

ŝanĝi tapiŝon

al junka somermato —

ĉambro refreŝa

下五はさらに工夫して別の表現をすることもできます。焦点になる事柄を詳しく述べて、それ以外のことはさらっと流す。俳句は短いのでメリハリを付けることが大切です。

以下は上記以外の選句結果。筆名の後ろに\*印があるのは添削された句形であることを示します。

Ondas rizkampoj

malhele verdaj. Vojo

kuras bastone.

(Joŝi)

voĉoj malaltaj

sonoras maltrankvile,

venas kanbirdo

(Rizo)

trinki kun edzo

tason da nova teo

en posttagmezo

(Tokie)\*

では最後に選者の一句です。

mara odoro —

malaltaj herboj tremas

de suda vento

### モバード俳句投稿案内 (11月号に掲載予定)

- temo (兼題) : 自由題。秋の季語を詠みこむ。(複数投句の場合は無季句を含んでも可)
- 郵送の場合 : 作品 (3句まで) とローマ字書きの筆名、住所氏名を記載。送り先は、〒832-0073 柳川市鍛冶屋町 39 広高正昭
- 電子メールの場合 : 内容は郵送の場合と同じ。送り先は、hirotk-m@nifty.com
- 締切 : いずれの場合も8月31日必着。



## 第 61 回関西エスペラント大会

### 分科会と並行番組

#### アジアと連帯した運動

大会の目玉番組のひとつがこの分科会。2 日間にわたって同一テーマで、出席者の顔ぶれもあまり変わらないという状況で行われた。出席者が多く、椅子が足りないほどだった。司会は木元靖浩さん。

1 日目は SUN Mingxiao さんが中国の最近のエスペラント運動のこと、棗庄大学に開設されたばかりの世界語博物館 (Esperanto-Muzeo) のことを報告。質疑応答があった。2 日目は江川治邦さんが地域にエスペラントを宣伝する戦略について説明。その後の討論では、どのようにして若い人に運動を広げるかという悩みや、若者は理念より実利の方が大切ではないかという意見、スカイプを使って子どもたちが国際交流をしているという経験などが話された。日本語話者ではない参加者もいたため、話し合いの大部分がエスペラントで進行した。

#### 大会ミニ大学

森川和徳さんが「電池がないのに I C カードはなぜ作動するのか」笹沼一弘さんが「私たちは未来を選べるかー選挙制度と政治」のテーマで講演。現代的なテーマだが、クイズを交えてわかりやすく解説された。

#### エスペラント作文教室

本誌「楽しい作文教室」でおなじみの塚本猛さんの指導で、日本語の短文をエスペラントに翻訳し、表現について意見を出し合った。

#### 科学者・医学者分科会

チェルノブイリや福島の放射能汚染のこと、落葉広葉樹を使った汚染除去などについて話し合った。みんなで楽しく歌おう

公開番組に出演するとらふす少年少女合唱団のこともたちも交えて、牧野三男さんの指導で「みつばちの子の巣立つ朝」などエス訳された歌をいくつか練習した。

#### 初音ミクと新エス歌を歌おう

映像と歌詞を映写しながら、みんなで「木星」「ABC の歌」「鎮魂の歌」を歌った。

#### エスペラント発音矯正講座

沖恵明さんの指導で、母音・子音それぞれを正確に発音できるよう、何度も練習をした。

#### エスペランチスト九条の会

故 LEE Chong-Yeong さんのテキスト「九条とエスペラント」を参加者で輪読し、感想や意見を出し合った。

#### 外国人と話す会

Atilio Orellana ROJAS さんを囲んで話をした。

Atilio さんはオランダ国籍で、日本とオランダの関係が話題になった。



So Gilsu さん



SUN Mingxiao さん



Atilio ROJAS さん

#### とらふす少年少女合唱団



フレーム切手と小型通信日付印

第62回関西エスペラント大会は、2014年5月31日・6月1日に姫路市のイーグレひめじで開催されます。





## *La 3-a Informilo*

La 100-a Japan Esperanto-Kongreso  
en Tokio

La 12-a ~ la 15-a de oktobro 2013

**第 100 回**

**日本エスペラント大会  
(東京都江戸川区)**

**日時:** 2013年10月12日(土)~15日(火)

**会場:** タワーホール船堀 (東京都江戸川区)

(〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1 TEL:03-5676-2211 <http://www.towerhall.jp/>)

**主催:** 一般財団法人日本エスペラント協会, 都区内エスペラント会連絡会 (池袋, 新宿, 杉並, 調布, 西日暮里, 三鷹・武蔵野, 目黒の各会とロンド・コルノ)

**後援(※):** 東京都, 東京都江戸川区, 江戸川区教育委員会, 独立行政法人国際交流基金, 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟, 一般社団法人日本ペンクラブ

※12日の懇親会、14日の親睦の夕べ、15日の観光は後援対象から除く

**大会テーマ:**「人の心をつなぐことばエスペラント—100余年の歩みから未来へ」

**Kongresa temo:** Esperanto ligas homajn korojn --- de la pli ol 100-jara historio al estonteco

---

世界で初めての記念すべき第 100 回大会が近づいてきました。多彩なプログラムがほぼ決まりました。公開プログラムも例をみないほど大変豊富です。外国からの参加者も招待者を含め増えつつあります。それぞれに色々な楽しみ方ができると思います。まだ参加申込みをされていない方は、ぜひ参加費がお得な7月中にお申込みください。皆様の参加を心よりお待ちしております。

---

**〔親睦の夕べ 出演者募集〕** 大会3日目の14日夕刻、小ホールにて親睦の夕べを催します。ご提案と出演応募を、8月10日までに、下記の大会連絡先へお願いします。現在、合唱、楽器演奏ほかを予定しています。

**〔小集会募集〕** 12日~14日の18時以後、部屋をいくつか用意しています。同窓会・オフ会など可能です。1時間500円。下記大会連絡先までお問い合わせください。

**〔東京スカイツリー観光〕** 閉会式終了後に、大会会場から貸切バスで東京スカイツリーへ移動。到着後はエレベーターで展望デッキまで上り、その場で解散。定員は50名。2500円。先着順に受付ます。お申し込みと同時に支払いをお願いします。

**大会連絡先:** 日本エスペラント大会事務局

〒162-0042 東京都新宿区早稲田 12-3 一般財団法人日本エスペラント協会内

メール: [jek100@jei.or.jp](mailto:jek100@jei.or.jp) 電話:03-3203-4581 FAX:03-3203-4582

お問い合わせはなるべくメールでお願いします。ホームページ: <http://jek100.esperas.info/>

参加申込みは郵便振替 00130-4-744162 (日本エスペラント大会A)へ。振替の到着後2週間をめどに領収書(はがき)をお送りします。

## 主なプログラム(下線付きの番組は一般公開)

10月12日(土)	
9:00-12:10	①青年主催番組
13:10-14:40	公開入門講座,初心者番組, 検定試験,E会懇談会, ①青年主催番組
15:00-16:00	開会式
17:30-19:30	夕食懇親会
19:30-21:00	音楽番組(計画中)
16:30-21:00	①会食と散策の夕べ

10月13日(日)	
9:00-10:30	初心者番組,分科会
10:40-12:10	外国人小講演,分科会, 小坂賞講演,初心者番組
13:30-16:45	②公開講演会1(開場 13:00)
13:10-16:20	Eで話そう
18:45-21:00	③公開コンサート

10月14日<体育の日>(月)	
9:00-10:30	④講演会2, E会懇談会, 初心者番組, 分科会
10:40-12:10	⑤文学対談, 外国人講演, JEI 総会, 初心者番組,分科会
13:10-14:40	④公開講演会3, 分科会
14:50-16:20	⑥公開講演会4, JoMo コンサート,小講演, アジア運動,教養講座,分科会
19:00-21:00	親睦の夕べ

10月15日(火)	
9:00-10:25	歌, 文芸, 分科会
10:40-11:20	閉会式
12:00-	東京スカイツリー観光

### ① 青年主催番組/会食と散策の夕べ (12日)

国際語によるコミュニケーションを楽しむための番組を多数催します(楽しんで学ぶE講座、ディスカッション、国際語交流について Juheloさんの体験談など)。どなたも参加OK。初心者には日本語での補佐あり。夜は「会食と散策の夕べ」と題し、外のレストランで夕食後、東京散策に出かけます。

### ② 公開講演会1 後藤齊氏 ウルリッヒ・リンズ氏 木村護郎クリストフ氏 (13日 13:30-16:45)

テーマ:日本にとってのエスペラント エスペラントにとっての日本 —歴史から学ぶ未来への展望

### ③ 公開コンサート (13日 18:45-21:00)

北川淳人(Atuto)、高橋万祐子、沼田盛也、野田淳子、読谷山こずえ、Eterne Rima、ウリパラム、城郷高校コーラス部卒業生に加えて、海外から JoMo が参加。歌唱、ジャズ、ヒップホップ、合唱など多彩なプログラムを企画中。

### ④ 講演会2、公開講演会3 オスモ・ブレレル氏(世界エスペラント協会事務総長) 2題 (14日)

UEA kaj ĝiaj aktualaj taskoj kaj planoj (14日 9:00-10:30)

フィンランド初代駐日公使・アルタイ語学者 グスターフ・ラムステッドについて(一般公開)

通訳:後藤齊氏(14日 13:10-14:40)

### ⑤ 文学対談 温又柔氏、間宮緑氏 (14日 10:40-12:10)

テーマ:地球上に点在するローカル文学の「世界」性 — denaska lingvo(母語)、

internacia lingvo(国際語)、そして nacia lingvo(国語)を往還しながら創作するということ

### ⑥ 公開講演会4 ハルペン・ジャック氏 (14日 14:50-16:20)

テーマ:効果的な外国語学習とは?私がエスペラントを勧めるワケ

日本在住40年、15カ国語を習得した語学の達人が日本語で講演します。

【ハケ岳エスぺラント館 秋の文化講座】(15日大会会場集合～2泊～17日13時前に茅野駅解散) 閉会式終了後に移動。講演会、演奏会(民族楽器とマンドリン)、散策、考古館見学など。

旅費+1万円。10名まで。申込問合せは運営委員の堀まで: hori-zonto@water.sannet.ne.jp

【大会記念品】 大会記念出版2点

Japania Literatura Juvelaro(日本文学作品集): 昨年募集した日本文学のエスぺラント翻訳集です。  
エスぺラント会文集: 各地のエスぺラント団体より工夫、課題、現状、想いなどを寄稿いただきました。これをもとに、大会では運動活性化のための討論会を予定しています。

大会参加費 (単位は円)

参加種別	7月末まで	8月以降	記念品報告書
① 一般	6,000	7,000	あり
② 障害者	3,000		あり
③ 家族	3,000	4,000	なし, 記念品希望は①
④ 青年(1987年1月以降生まれ)	3,000	4,000	あり
⑤ 中学・高校生	1,500	2,000	あり(単独参加に限る)
⑥ 小学生以下	700	1,000	なし
⑦ 留学生(日本留学中,外国籍)	3,000	4,000	あり
⑧ 外国から	2,000		あり
⑨ 不在参加	3,000		あり

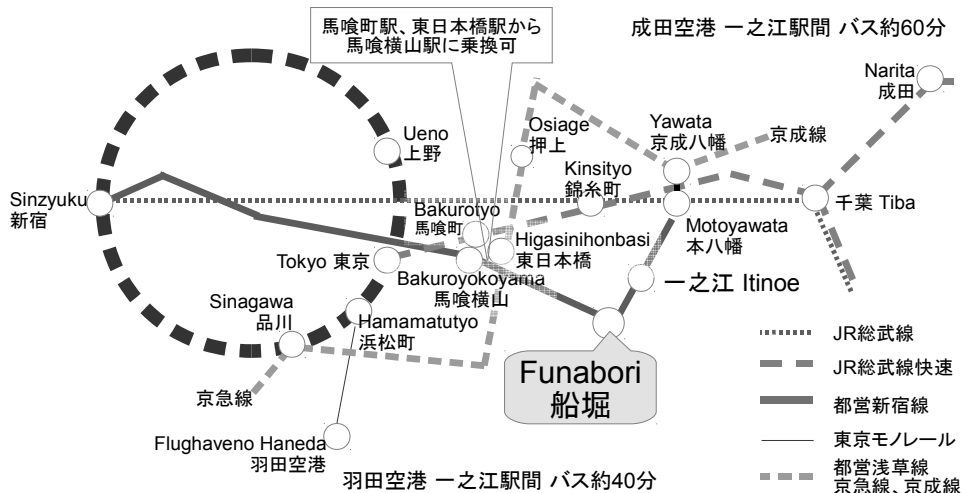
参加オプション		備考
⑩ 記念写真	1,000	
⑪ 夕食懇親会(12日)	7,000	菜食希
⑫ 昼食Ⅰ13日(日)	950	望は記
⑬ 昼食Ⅱ14日(月)	950	入のこと
⑭ 大会後観光	2,500	
⑮ JEI 学力検定試験		1級:5,000円, 2級:3,000円, 3級:2,000円, 4級:1,000円
⑯ JEI 新テスト	500円	

取り消し条件

- ①-⑨の参加費は原則としてお返しできません。
- ⑩-⑯の費用は、9月末までに限り、返金手数料500円を控除し返金します。

【宿泊】 沿線のホテルリストをホームページなどでお知らせしています。それを参考に、各自で予約・支払いをお願い致します。

【会場アクセス】 タワーホール船堀の建物は 都営地下鉄新宿線船堀駅 北口前です。





# La 100-a Japana Esperanto-Kongreso en Tokio

**Dato:** la 12-a, 13-a, 14-a kaj 15-a de oktobro 2013

**Kongresejo:** Turo-Halo Funabori (Tower Hall Funabori), Kvartalo Edogawa, Tokio ;  
ĝuste norde de la stacidomo Funabori

**Kongresa Temo:** *Esperanto ligas homajn korojn*

*--- de la pli ol 100-jara historio al estonteco*

## Ĉefaj programeroj

### La 12-an de oktobro (sabate)

Antaŭtagmeze: Fakkunsidoj

Posttagmeze: Fakkunsidoj, Inaŭguro

Vespere: Bankedo

### La 13-an de oktobro (dimanĉe)

Antaŭtagmeze: Fakkunsidoj, Prelegoj

Posttagmeze: Publika Prelego

Vespere: Publika Koncerto

### La 14-an de oktobro (lunde)

Antaŭtagmeze: Fakkunsidoj, Prelegoj

Posttagmeze: Fakkunsidoj, Prelegoj

Vespere: Amika Vespere (prezentantoj atendataj)

### La 15-an de oktobro (marde)

Antaŭtagmeze: Fakkunsidoj, Ferma Soleno

Postkongresa ekskurso al *Tokyo SkyTree*

**Memoraĵo:** Japana Literatura Juvelaro

**Kotizoj:** Eksterlandano venonta el ekster Japanio: 20 eŭroj (al UEA-konto jeia-b)

Loĝanto plenaĝula en Japanio:

6 000 enoj (ĝis la 31a de julio 2013) 7 000 enoj (poste)

Pri ceteraj kotizoj (handikapulo, junulo, lernanto, alilanda studento, morala partopreno, ktp) demandu Lokan Kongresan Komitaton (vidu informon malsupran piednotan).

**Loĝado:** jek100@jei.or.jp / Listo de hoteloj <http://jek100.esperas.info/index.php?Hotelo>

**Postkongresa ekskurso :** Televida turo *Tokyo SkyTree* (duon-taga)

**Foto:** 1 000 enoj

**Lunĉo:** la 13-an kaj 14-an de oktobro, 950 enoj potage

Esperanto-Domo de Jacugatake bonvenigos vin post la Kongreso. Kulturaj Eventoj de la 15a ĝis la 17a, sur monteto 200 km for de Tokio.



---

Pri detalaj informoj havu kontakton kun Loka Kongresa Komitato

ĉe Japana Esperanto-Instituto/ JP-162-0042 Tōkyō-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3

retadreso: jek100@jei.or.jp, telefono: +81-3-3203-4581, fakso: +81-3-3203-4582,

retejo: <http://jek100.esperas.info/index.php?Pri%20la%20Kongreso>

## 毒舌と細心と

藤本達生（京都府）

宮本さんについて、何を書けばいいのか。これを引き受けた時は、何も思いつかなかったので、田平正子さんに助けていただくことにしたのだった。次は、田平さんの「思い出」。

——関西のエスプレッソは、一度は宮本さんの毒舌の犠牲になるという噂だったが、私は1975年に北九州から京都へ引っ越してきて、KLEG事務所に出入りして、宮本さんが当直していても、ぜんぜんそんな目に遭わなかった。

事務所にセールスマンが来たら、口がきけないふりをして追い返しているのが、面白かった。宮本さんの孫と私の娘が同じ年に生まれて、かわいいのか、孫の話をうれしそうにして、娘にキスしてくれたり…多分、宮本さんからキスされた唯一の女性だったのかもしれない。

入院中、お見舞いに行ったら、病院食は味が薄いからと、内緒で買った醤油をおかずにかけて食事しているのを見て、心配になった。外食許可が出て近くの喫茶店に行った時も、砂糖は禁止されているからと、コーヒーに人工甘味料をたっぷり入れているのも…

お連れ合いの方が先に逝かれたが、一度もけんかをしたことがない、と言われて、今どき珍しい夫婦だと思った。

退院されてから、お宅を訪ねたとき、一人暮らしで洗濯物が部屋にぶら下がっているのはいいが、しわだらけのまま、乾いたあとアイロンをかけているのかしら、と気になった。

最後の入院のときは意思疎通ができず、著書の一部のことを質問しても、通じなかったのが悲しかった。寝たきりで足がだるそうだったので、膝から下をさすってあげたら、気持ちよさそうだったのでうれしかった——

田平さんの文が呼び水になったみたいで、私にも思い出すことがありそうな気がしてきた。

1955年の8月、吹田の関西大学で開かれた日本大会に行くまえ、当時は中津浜通りにあったKLEGの事務所に立ち寄った。宮本さんとは、この時が初めてのご対面となった。

しばらくして、京都から、今でいうボランティアとして、週に何度か通うようになった。のちには、京都の四条大宮—梅田間の阪急電車のパスを買ってもらったのが、ありがたかった。なにしろ無職だったので、時間はたっぷりあったけれど、私は文無し青年だった。

次は、思い出すままに、順不同で書くことにする。

1969年の5月、当時はユーゴスラビアのザグレブ市でエミリア・ラペーナ女史を訪ねた。家の中まで入ったかどうか、はっきりしないが、玄関のところで、帰り際に、エミリアさんが、「ミヤモトさんに、くれぐれも、よろしく!」と言った。これは、エスプレッソで何か言ったのだが、聞いているわたしは、<くれぐれも>にあたるな、と思ったわけであった。彼女は"tre bele saluti"と言ったのでありました。

さて、夕方、家に帰るとき、宮本さんは、ときどき、私をつれて、喫茶店に寄った。なじみの店は「クミヤ」と言い、中津から歩いて梅田に出る途中にあった。他の方々も、おそらく、このクミヤはご存知であろうが、ここでコーヒーを宮本さんと飲んだ回数は、私が一番多かったのではないかとと思っている。

宮本さんの話は、きわめて文化性の高いものだった。つまり、固有名詞が、やたら多く出てくるのである。戦前の、労働運動から共産党やら文学芸術にいたるまで、どんどん出てくる。「あいつは、ドラカンや!」とかであるが、ktp. ktp.

「おい、お前は、タケハナにきらわれとるぞ!」と言われたこともある。さらに、「ウメサオは、『ザメンホフの生涯』について、本を見るのもいややて、言うてたらしい。ウメダがそう言うのとった…」

この、最後の話は、ホンマかいな?としか言えない。梅棹忠夫さんが、そんなことを梅田善美さんに言うやるか?まさか、宮本正男さんの作り話でもないとは思いますが。「これをば、どうかせんらん!」つまり、「をば」と言うのだった。

京都大学人文科学研究所の教授、狭間直樹さんは、「宮本先生」と呼び、敬意を表していた。この方は中国の近現代史の専門家、その道の大家である。

神戸外国語大学の非常勤講師なるものに、宮本さんは任せられたことがあった。世間に通用する肩書きが何もなく、宮本さんは、この講師という肩書きがうれしそうであった。

その点、わたしも同様なので、よくわかる。



## 「時事エスペラント勉強会」 始めました

広高正昭 (福岡県)

エスペラントで時事ニュースを読んだり、発信したりするときに生じるさまざまな問題を会員相互の質疑応答によって解決することを目的に、有志が語らってメーリングリストを立ち上げました。名称は「時事エスペラント勉強会」、エスペラント名は Esperanta Novajo el Aktuala Japanio (ENAJ) です。

発起人のひとり沖田和海 (横浜在住 JEI 会員) が 2010 年に短文投稿サイト「ツイッター」に参加し、その時々日本のニュースをエスペラントの短い記事にして 1 日 1 件ほぼ毎日投稿してきました。2012 年からはエスペラントのメーリングリスト ERAJ へも一週間分をまとめて投稿するようになり、このエスペラント記事を例会での教材に使うところも現れました。同時に時事的なことからエスペラントでどう表現したらいいかという疑問も出てきましたが、ERAJ では突っ込んだ論議をしにくいところから、山川修一、柴山純一、広高正昭の NUN-vortoj メンバーと相談の上、5 月に標記のメーリングリストを立ち上げました。現在約 30 人の会員がいます。

話題の中心は、沖田の発信する予定の時事エスペラント文をめぐる添削と質疑応答ですが、それ以外の会員からもエスペラント記事が投稿され、同じように添削を受けたりします。また、固有名詞に関連したエスペラント表現や中級者がよくぶつかる文法上の問題などをめぐる質疑応答が会員相互のやりとりで活発に進められています。

参加したい方は下記サイトの要項を熟読の上、必要事項を記入し、広高まで電子メールで申し込んでください。

◎時事エスペラント勉強会要項：

<https://sites.google.com/site/enaj2013eo/>

◎申込先：広高正昭 <hirotk-m@nifty.com>

## なだいなだとエスペラント

峰 芳隆 (兵庫県)

6 月に亡くなった精神科医で作家のなだいなださんは、私たちには、小林司との対談集『20 世紀 2013.8

とは何だったのか マルクス・フロイト・ザメンホフ』(朝日選書、92 年。同書の第 3 章は「エスペラントという思想」)で知られているが、そのほかにも、07 年横浜で開かれた世界大会に名誉顧問として出席するなど、エスペラントの支持者であった。

私は、『ちくま』誌に連載された、彼の「人間、とりあえず主義」を愛読していたが、その中にも、次のように、エスペラントに触れる文があった。『ちくま』07 年 4 月号：「ぼくは国際語に本当にふさわしいのは、合理的で単純な、エスペラント以外にはないと思っています」。

『ちくま』08 年 3 月号：(フランスの本屋で)「探していたのは、フランス語で書かれたエスペラントの学習書と小さな辞書だったが、すぐに何冊も見つかった」。

また、岩波書店『図書』08 年 11 月号のアンケート「私のすすめる岩波新書」に田中克彦著『エスペラント—異端の言語』を挙げて、「これほど広い視野からの、深い思想をたたえたエスペラント論は、かつて書かれたことがなかった。エスペラントばかりでなく、読むものに近代国民国家の言語問題まで考えさせる名著である。エスペラントに反射されて、読むものは、今自分の使っている日本語という言語にも、目を向けるだろう。最近読んだ新書の中で抜群の印象を与えた一冊である」と述べている。

## 梶山季之とエスペラント

峰 芳隆 (兵庫県)

作家・梶山季之の小説集『那覇心中』(講談社、1976 年)の「木槿(むくげ)の花咲く頃」に、次の一節がある。

「それは、エスペラント語でしょう」

哲仁の父はそう答えて、

「各民族には、歴史と誇りがあります。だから通貨と同じく、母国語に固辞することでしょう。だったら、新しく作ったエスペラント語を採用すべきです」

と敷衍(ふえん)したのだった。

池田信吾は、一農園の経営者が、かくもすぐれた先見の明を抱いていることに、先ず感動した。

舞台は戦前の日本統治下の朝鮮京城(現在のソウル)。主人公の池田信吾は東京から赴任した京城中学の英語教師。これは主要人物である教え子の「趙哲仁」の父親のことを語るエピソードとして挿入さ



れた一節。前段に、外国語の論議があり、「世界の言葉を、共通語に統一できたなら、国際間の紛争がなくなる」という趙の父親に対して、「では、何語にしたらよいと、お考えになりますか?」という信吾の問いへの返事である。しかし、小説の筋とは関係がなく、話はこれ以上進展しない。

梶山季之は、1930年ソウル生まれ、1942年京城中学に入学し、日本の敗戦後に広島へ引き揚げ、流行作家になった。それにしても、なぜこの会話が挿入されたのか。中学時代、身近にこのようにエスペラントのことを語る人がいたのかも知れない。それを当時の朝鮮社会の一面を描くためのエピソードとして加えたとは、考えられないだろうか。

なお、この作品を知らせてくれた岸田準二さんは、初期の吹田エスペラント会で活躍された方で、La Movadoの3代目編集長を務め、1957年にKLEG賞を受賞され、現在は松原市にご健在である。

## 会報を「自炊」しよう

島谷剛 (大阪府)

印刷物をスキャナーなどで読み込んでPDFにする、いわゆる「自炊」が流行しています。エスペラント界でも、戦前の歴史的資料がインターネットで読めるようになってきています。

私も池田エスペラント会の古い会報をせっせとPDFにし始めました。個人情報もあるので、公開するかどうかは別にして、昔の資料が散逸する前にまとめておこう、と思っています。

PDFといっても2種類あります。中身がテキストのPDFは、複製禁止になってなければ、簡単に元の文章を取り出したり、検索したりできます。

ところが、紙の資料をスキャナーで光学的に読み取って作ったPDFは、テキストのように見えていても中身は画像にすぎません。文章を取り出すことも、検索することもできないのです。これでは、調べごとがあったら、最初から全部目を通さないといけない。池田エスペラント会程度でも、何十年かの歴史があるので、大変な作業です。

そこで登場するのが、OCRというソフト。英語のOptical Character Recognitionの略で光学文字認識のこと。エスペラントでは、Optika Karaktro-Rekonoなので、OKRになります。画像から文字を抽出して、テキストにしてくれます。元が画像のPDFでも、画像

La Movado 750

初心者のための

## 語尾なし単語の使い方(8)

相川節子

### 本来副詞(13) for

「離れて」という意味の副詞です。物理的な距離だけでなく、心理的な距離も含み、時には「視界の外へ」というニュアンスにもなります。

Iru for!

(去りなさい)

Estu for de la nesto de abelo.

(蜂の巣から離れていなさい)

For de l'okuloj, for de koro.

(目から離れる、心から離れる)「去る者は日々とうとし」という日本語のことわざに相当します。2カ所のlaのうち一方がl'となっているのは単にリズムを整えるためで、意味には影響がありません。

わたしたちが実際に会おうのは、for単独よりも接頭辞として他の単語と合成して使われるケースの方が多でしょう。このときのforも、基本的には「離れて」「遠くに」の意味なのですが、時には「すっかり~してしまう」というニュアンスが加わることがあります。

foriri (去って行く)

forjeti (投げ捨てる)

forkuri (走り去る、走って逃げる)

foruzi (使い果たす)

forbruligi (燃やし尽くす)

ちょっと要注意の合成語はforlasiです。「見捨てる、放っておく」という意味に使われたり、「~をあとにする」という意味に使われたりします。

Dio ne forlasu vin!

(神様があなたをお見捨てになりませんように!)

Ili devis folasi la urbon pro akcidento de atomcentralo.

(彼らは原発事故で町を去らなければならなかった)

---

の裏の同じ位置に「透明テキスト」を配置してくれるので、検索もできます。

ここで悩むのが、どのソフトを選ぶか。日本語が得意なソフトは字上符があるエスペラントが苦手。エスペラントに対応する欧文OCRは誤認識が多い。エスペラント会の会報はたいてい、両方混在している……

よい答があったら、教えてください。

# Vortaro por Lernantoj — Laŭlum

131

**respondi:** Diri kion oni pridemandas.

*La edzo demandas:*

*“Nun kion vi frandas?”*

*L' edzino respondas:*

*“La fiŝo malgrandas.”*

**resti:** Senŝanĝe, daŭre esti.

*Falis la folioj,*

*Restas la branĉaro.*

*Ili reverdiĝos,*

*En venonta jaro.*

**ricevi:** 1 Fariĝi posedanto de io: Por la servo vi ricevos pagon. 2 Esti trafita de io: ricevi punon, insulton, laŭdon.

*Li pri infano multe revis,*

*Kaj filineton li ricevis.*

*Ŝi delikatis, malsanemis,*

*Ŝin fleĝi zorge do li devis.*

**riĉa:** 1 Posedanta multe da propraĵo. 2 Abunda je materia valorajo: riĉa rikolto. 3 Donanta impreson de abundeco, pleneco, profundeco: riĉaj koloroj, salonoj.

*La najbaro estas riĉa*

*Kaj kun ĉio tre sufiĉa.*

*Sed li vivas maltrankvoile,*

*Do li estas nefeliĉa.*

**ridi:** 1 Montri subitan gajecon per la buŝo kaj vizaĝo, ofte kun ĝoja voĉbruo: Plej bone ridas, kiu laste ridas. 2 Montri agrablan, feliĉan aŭ bonvenigan aspekton: Ŝiaj okuloj ridis. 3 Moke esprimi sian malŝaton: Mi ridas lian naivecon.

*La miopul' ĉe l' frato sidis,*

*Sed li nenion klare vidis.*

*“Kie forestas mia frato?”*

*demandis li kaj ĉiuj ridis.*

## Friska Lernejo 最新情報

初級会話の講師は S-ro Ugo José LACHAPELLE に。  
9月14日～16日(土日月/祝) 大阪府豊中市の善  
き牧者愛徳の聖母修道会修道院。詳細はチラシを。

## La Movado-La Movado-La Movado-La Movado-La

### ハケ岳エスペラント館 秋の文化講座

西日本の方には第100回日本エスペラント大会が東京で開かれるのは、絶好の訪問の機会です。閉会式のあとすぐ出発して、夕方にはハケ岳に、そして帰りは、中央線で名古屋へ出て、帰路につけます。

10月の半ばは、紅葉の真っ盛り。時には、鹿の家族も来ます。天気が良ければ、世界遺産の富士山が、くっきりはっきり見えます。

「ハケ岳エスペラント館 秋の文化講座」プログラム  
10月15日(火曜日)

行き方: 大会終了後、船堀 12:26 → 12:47 新宿、  
新宿西口 13:20 (高速バス) 15:48 小淵沢バス停、  
そこからタクシー。

費用: 都営新宿線 310 円、高速バス上諏訪行き  
(片道 2,440。往復 4,400)

タクシー代 (バス停からエス館まで)

16 時過ぎ、ハケ岳着。部屋割り、生活の説明など。

18 時夕食、釜飯 (1050 円、自己負担)。サラダなど。

19 時半～20 時半 笛吹男さんの世界の民族楽器コンサート。その後は歌、自由懇談、など。

10月16日(水曜日)

午前: 周辺散策 (ハケ岳山法性禅寺、富嶽山神社、  
棒道、三分一湧水) 昼食は三分一湧水の食堂で各自。

午後: 講演会

1. コモリヨシキさん (カナダ)

「カルガリーのエスペラント運動について」

2. 「ハケ岳エス館の由来、周辺の植物、昆虫など」

3. 堀泰雄さん「東日本大震災の被災地の今」

夜: 岩谷夫妻のマンドリンコンサート・Gaja Vespero

10月17日(木曜日) 茅野市尖石縄文考古館訪問

バス移動。昼食のあと茅野駅で解散。

14:03 塩尻発 L 特急しなのに乗ると 16 時名古屋。

参加費 1 万円。募集人数 10 人 (関西以西の人歓迎)

世話人: 堀、引田、岩谷夫妻 (料理とコンサート)

参加申込: amiko465@yahoo.co.jp (岩谷) [←山田義]

## kafejo lante

大阪国際大学教授の橋本義郎さんが「カフェスロー大阪」で「kafejo lante」を 2 ヶ月に 1 度開催している。ツイッターの報告によると、多彩な人が顔を出している。次回の開催は 9 月 13 日 (金) の予定。

## 函館で、エロシエンコについての研究報告

5月12日に開かれた函館日ロ交流史研究会で、ロシア極東連邦総合大学函館校のアニケーエフ・セルゲイ教授が「20世紀初頭の日本過激派や在日外国人（朝鮮人など）とロシア盲目詩人エロシエンコとの関係について」のテーマで報告。その中で、自身のエスペラント体験についても。 [←後藤斎]

## 日本平和学会の春季研究大会

6月15日16日の2日間にわたって、大阪大学豊中キャンパスで開催された。16日開催の「非暴力」分科会では寺島俊徳関西大学教授が「エスペラントと言語民主主義」について報告した。また、15日夕には、野田淳子さんのミニコンサートが開催され、エスペラントの歌を披露した。

## ロンドの活動

### 高槻エスペラント会初夏の遠足

6月2日（日）当会役員東藤薫久さんの案内で、岸和田の町を散策。町の文化・歴史の探訪を楽しんだ。



参加者8人。向って左から前列：湯川昌明、安部力、浮田政治、東藤薫久。後列：高橋晋、中津正徳、石川博美、日野起男。

宇治城陽エスペラント会が観光案内サイトを作成  
宇治城陽エスペラント会は、昨年からエスペラントの宇治観光案内作成にとりこんでいたが、一応完成した。1983年に同会が発行したパンフレット「Bonvenon al Uzi」の改訂版にあたるものだが、今回は紙の冊子ではなく、ネット上だけで公開する。会員が手分けして取材し、日本語のパンフレットも参考にしてそれぞれのテーマごとに原

稿を書いた。昨年10月には写真取材のための遠足を行った。例会のうち一日をさいて原稿の内容を検討したこともあった。全体を相川節子さんがまとめ、7月初めに公開した。サイトアドレスは [http://www.geocities.jp/esperanto\\_uj/turismo.html](http://www.geocities.jp/esperanto_uj/turismo.html)

[←宇治城陽エスペラント会]

### 京都エスペラント会の日曜例会

京都エスペラント会は毎週水曜日のほか、6月から日曜日にも例会を行っている。教材はLa Movadoなど、他ロンドの会員も歓迎。毎月1回実施。次回は8月11日1時半からエスペラント会館で。 [←相川節子]

## KLEG 事務局だより

★5月25、26日に和歌山市で開催された第61回関西大会では、例年どおりKLEG書店が開設され、299点、221,560円の売上がありました。最も売れたのは、断トツで47冊の「走れメロス」でした。

★書店の開設、運営には、事務局の相川節子さん、大畑賀代子さん、東藤薫久さん、図書部の染川隆俊さんの他、堀田有里さん、堀田裕彦さん、蒲池富美子さん、磯貝尚武さんのご協力を得ました。

★関西エスペラント連盟は、「2013年活動年鑑」を発行しました。これは、当連盟の団体会員（ロンドの会員）と個人（賛助）会員に配布されます。新たに入会した会員にも配布されますので、該当するロンドは事務局に申し出てください。

## KLEG 後援会へのご寄付 (2013年4月～6月、敬称略)

藤田武男	10,000円
中村文雄	10,000円
匿名	10,000円
中道民広	7,720円
飾森すみ	5,000円
村田和代	3,000円
青山徹	3,000円
中島紀子	3,000円
匿名	2,702円
淵田京	2,000円
柴山純一	1,200円
江川治邦	1,200円
西泰宏	1,200円
谷川弘	1,170円
片岡由規子	857円
野々村耀	602円
伊藤純子	600円
藤本達生	600円
吉村アサ枝	600円

今回は特に多くの方からご支援をいただきました。ありがとうございます。



# Vortokruca enigmo

Redakcio

1	2	3	4	5	6	7
8	*		*			
9			10		11	12
		13		14		
15				16	17	
		18	*		19	20
22			23	*		
24	*					25
26		*		27	*	

Vicigu adekvate 10 literojn trovitajn en la kvadratetoj kun steleto. Tiam vi akiros nomon de iu scienca fako. Sendu la trovitan vorton kiel solvon de la enigmo, ĝis la 20-a de aŭgusto en 2013.

Rimarko: (x) signifas, ke la vorto ne portas finaĵon.

**Horizontale:** 1. Interŝanĝi leterojn aŭ retajn mesaĝojn.(x) 8. Malsano pro nesufiĉo de hemoglobino en sango.(x) 9. Pronomo de tria persono.(x) 10. Publikigi libron aŭ ĵurnalon.(x) 13. Arb~o, vort~o, estr~o.(x) 14. Ĉiuj civitanoj devas havi ~an rajton.(x) 15. Unu el la stiloj de arkitekturo en la mezepoka Eŭropo.(x) 17. Gramatika finaĵo de verbo.(x) 18. Uzu la lifton por iri al la supra ~o.(x) 20. Konjunkcio.(x) 22. En tiama Bjalistoko la gentoj malamis unu la ~an.(x) 23. Ujo portebla per brako por enmeti librojn kaj dokumentojn.(x) 24. Ne manĝi dum pli-malpli longa tempo pro religia kialo.(x) 25. Publika programo de la kongreso estas malfermita al ~ajn.(x) 26. Participo montranta staton aŭ agon en pasinteco.(x) 27. Modifi leĝon aŭ leĝprojekton.(x)

**Vertikale:** 1. Arto bele skribi literojn.(x) 2. 2013.8

Pronomo signifanta "iu", "iuj" aŭ "homoj ĝenerale".(x) 3. Ĝis ~vido!(x) 4. Soldato aŭ salajrulo, kiu ekŝiĝis post difinita tempo de servado kaj ricevas pension.(x) 5. Granda ujo aŭ konstruaĵo por konservi herbojn, grenojn aŭ legomojn, manĝotaj de homoj aŭ brutoj.(x) 6. Neoficiala sufikso signifanta sciencon pri la koncerna vorto.(x) 7. Kiu ĉasas ~ leporojn, kaptas neniun.(x) 11. La oficejo funkcias ~ la 10-a horo.(x) 12. Muso multe ~as, dum tigro malmulte ~as.(x) 13. Homo ne kredanta je dio. (x) 16. Hejma besto, kiun islamanoj amas.(x) 19. Tre juna planto ĵus aperinta el la semo.(x) 21. Muzika verko por ekzerco aŭ rapide farita pentraĵo por ekzerco.(x) 25. Sufikso montranta naskantan sekson.(x)

La solvo al la junia enigmo: PLUV-MANTELO

La ĝustan solvon donis 8 legantoj:

CA, 中津正徳,

平井倭佐子, 水渡篤子, 中村文雄, Kacu, 西千寿子, 武藤たつこ

K	O	N	S	O	N	A	N	T
O	K		A	D		V	E	R
M	U	S	K	O	L		Ĝ	I
P	L	I		R	O	L		K
E		L	A		N	I	L	
T	R	E		A	G		U	S
E		N	O	M	S			I
N	I	T	R	O	G	E	N	
T	E		F	R	E	N	E	Z

楽しい作文教室 10月号課題 (8月20日締切)

- ①昨日の夕方、新しい上着を買った。
- ②ほかに新しい靴も買った。
- ③私はもう現金を持たない。
- ④駅の近くに銀行がある。

(ヒント) 上着 jako, 現金 kontanta mono, 駅 stacio, 銀行 banko. ankaŭ, krom も調べましょう。日本語の原文の内容が、相手にはっきり伝わるように考えて訳してください。

送付先:

[郵送] 〒674-0092 明石市二見町東二見 515-1-811 塚本 猛

[電子メール] c\_tak@esperanto.ne.jp

(件名に「作文」の文字を入れてください)

添削は受け付けておりませんのでご了承ください。

## Mikspoto

(当欄は敬称略)

☆ 『遠野学』 vol.2 (遠野文化研究センター、3月)の福田アジオ「柳田民俗学の国際性・民俗学の非国際性」に「柳田研究の方々から意外に忘れられているのが、柳田がある時期エスペラントという言葉を勉強し、普及を図り、何らかの形で民俗学を発展させようとした事実です」。そして、日本におけるエスペラント運動を概観し、「梅棹(忠夫)さんは、私の名前を見て、すぐに『エスペラントですね』と反応し、エスペラントで話し掛けてこられました。実は私の父が若いころにエスペラントを勉強した影響もあって、私の名前はエスペラントから付けられました」などと。 [←後藤斉]

☆ 『トスキナア』17号(皓星社、6月)の大西且「中庸? 緩慢? 穩健! 栗栖継先生の思い出」は、栗栖継訳『プラハ冗談党レポート』の翻訳出版の裏話であるが、訳者のエスペランチストとしての活動への具体的な言及がある。 [←峰芳隆]

★ "Literatura Foiro"262号(4月)に、Carlo MINNAJA の "Masao Miyamoto: nia ĉefa ekster-eŭropano". 宮本正男の生誕100年を期に、その文学活動を再評価した論考。 [←峰芳隆]

☆ 毎日新聞2013年6月28日地方版に「鹿児島エスペラント会:設立へ 日置の山下さん主宰、あす第1回学習会/鹿児島」として50行ほどの大きな扱いで掲載された。他に朝日新聞が6月29日の「イベント」で取り上げた。 [←山下敏裕]

☆ 中日新聞6月30日号「家族のこと話そう」欄に Glauco POMPILIO さんの息子のアンドレア・ポンピリオさんが登場。「父はイタリア人、母は日本人です。父は世界エスペラント協会の職員でした。」「英語も加え、家では三つの言語が飛び交っていました。」などと。

☆ 関西わだつみ会の「海」復刊第2号に「エスペラントのススメ(2)」が掲載された。 [←上田友彦]

☆ 毎日新聞6月18日夕刊『ブックマーク』欄に作

### 楽しい作文教室 (26) 成績

14人の方から応募がありました。( )内は留意事項です。  
うん、良いね: Yo, Ivajo(ĉi)  
良いね: T.Ku, ヒー坊, 田原, M.H., Ĉielo, Eiko, ikona(綴り), CA, alfa(-ig), Drakino  
もうひといき: Drako, Festo(RとL)  
がんばろう: 無し

家の温又柔が、エスペラント語という題で、生まれた土地の台湾語、「国語」として中国語、そして日本語を習ったことを書いている。連載最終回の25日には「希望」を学ぶ、という題で、「エスペラントを使うときは Wen Yuju と名のることにした」と。 [←田平正子]  
☆ 読売新聞6月21日東京夕刊の「オフステージ」に「MIDI 誰もが使える」で共通規格の制定、普及に尽力したローランドの創業者の梯(かけはし)郁太郎さん(83)が「僕は中学生の時にすばらしいと思って、エスペラントを始めた。MIDIのアイデアはエスペラント」と語っている。 [←山田義]

☆ NHKラジオ第1の6月15日(土)8時5分『ラジオ文芸館』『明滅』で主人公の少年たちの先生のセリフに宮沢賢治が世界共通語のエスペラント語で岩手をイーハトーヴォと名付けたことが。 [←荻野明]

☆ NHKラジオ第2の7月7日(日)8時半『宗教の時間』で仏典童話作家の渡辺愛子の作品が英語やエスペラントにも翻訳されていると紹介。 [←荻野明]

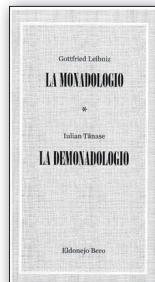
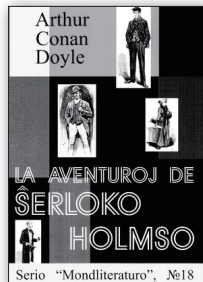
☆ 7月5日号の『花とゆめ』でエスペラントが縁で知り合った男女が主人公の「僕らは楽園で結ばれる」が連載を終了した。エスペラントの手紙も登場する。

Mikspoto の情報を募集しています。出典や日付、氏名(投稿者ご本人も)などを明記してください。写真添付も歓迎です。

**Gimnastiko por cerbo** 200円(7月末まで)  
数学パズル50題。解答と日本語の解説付き。  
モバード新書  
急逝された Enigma 欄担当の辰巳博さんを悼み、その著書を期間限定の特別価格で販売します。

### Kurantaj Vortoj [インターネット用語]

**Tut-Tera Teksaĵo(TTT)** ワールドワイドウェブ (WWW。インターネットのプロトコール)。  
**publika domajno** パブリックドメイン。  
**Fejsbuko** フェイスブック。  
**Wikipedio** エスペラント版ウィキペディア。  
**bloĝo** ブログ(インターネット上の日記)。  
**tviti** ツイッターする。  
**vikilikoj** ウィキリークス(情報公開)。  
**tera cifereca televido** 地上波デジタルテレビ(地デジ)。  
**tuttera pozicitra sistemo** 全地球測位システム (GPS。人工衛星からの電波で位置を測定)。



## ★ 新刊・新着

**Kuru, Melos!** 350円  
小西岳訳、太宰治「走れメロス」。真の友情とは一  
国語教科書にも収録されるおなじみの短編小説。  
原作テキスト付き。表紙はカラー刷り。挿絵は西田  
周司(新制作協会会員)。A5判、36p。

**La aventuroj de Ŝerloko Holms** 2500円  
コナン・ドイル「シャーロック・ホームズの冒険」。  
訳したのは I. Ertl, S. Johansson, T. Steele ら8人か  
らなる国際翻訳チーム。A5判、248p。

**La monadologio / La demonadologio** 550円  
17世紀哲学の巨人ライプニッツの「モナドロジー」  
に、Iulian Tanaseによるパロディを併載。I. Onet 訳。  
A5変形版、35p。

**Ĵom Artajoj 2 (KD)** 2300円  
スウェーデン在住のエスペラント・デュオ Ĵomart と  
Nataša の最新アルバム。

**緋むらの火 浜口梧陵のはなし** 800円  
"Fajro de Rizstako, la rakonto pri Gorjoo  
Hamaguĉi" 松下千恵作、藤井博之挿絵、江川治  
邦訳。わかやま絵本の会、英語グループとの連携  
で出版。B5版、44p。

**Raportoj el Japanio 16** 1300円  
堀泰雄による日本の〈いま〉を世界へ伝えるレポ  
ート集最新刊。副題は "Katastrofo de Japanio en la  
dua jaro" 2012年3月以降の被災地を活写。写真、  
図版多数。A5判、286p。

## ★ 再入荷

**Fabeloj de Andersen** 6000円  
ザメンホフ訳アンデルセン童話 45 話の朗読 (DVD  
2枚、テキスト付属なし)。MP 3形式(計約17時  
間)。朗読 Stano Marĉek。

**Fabeloj de la Fratoj Grimm** 3100円  
Kabe 訳グリム童話 28 話の朗読 (DVD 1枚、テキ  
スト付属なし)。MP 3形式(計約7時間半)。朗読  
Stano Marĉek。

※上記2点はいずれも DVD 媒体に MP 3形式で長時  
間録音。CD プレーヤーでは再生できません。朗読の  
Stano Marĉek はスロバキアの男性で、世界エスペラ  
ント協会 (UEA) 機関誌編集者。発音明瞭。

**JoMo friponas ! (KD)** 2000円

**JoMo kaj liberecanoj (KD)** 1700円  
フランスの歌手 JoMo のアルバム。JoMo は第 100  
回日本大会参加のため今秋来日予定。

## ★ 在庫から

**エスペラントと平和の条件** 1100円  
寺島俊穂著。「平和学からみたザメンホフ」など。

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。  
現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

## 編集ノート

☆本誌が750号になりました。

☆ヨーロッパに滞在中の市川晋平さんに、この号より隔  
月連載で旅行記を書いていただきます。

☆Kajero libervola の笹沼さんは今回で終了。ありがと  
うございました。(相川節子)



発行所：ラ・モバード社 編集：小西 岳 発行人：北 さとり 定価280円 送料60円 1年3800円 送料共  
本 局：一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曾根東町1-11-46-204  
電話 (06) 6841-1928 ファクス専用 (06) 6841-1955 電子メール：esperanto@kleg.jp  
振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ：http://kleg.jp  
九州支局：九州エスペラント連盟内 818-0105 福岡県太宰府市都府楼南2-8-7 武藤たつこ方 電話 (092) 923-2877  
中国四国支局：中国四国エスペラント連盟内 734-0041 広島市南区黄金山町7-15 忍岡守隆方 電話 (082) 286-2745  
印刷人：村 上 治 道 621-0815 京都府亀岡市古世町北古世82-3 株式会社 天声社